

## ～七飯町とコンコードの絆～

町民代表 渡 会 英 文

この度、コンコードに国際交流の派遣員として行けた事は、私にとって大きな影響を与えました。私たち日本人は、島国ということもあり、肌の違い、目の色の違い、言語の違いなど様々な事に、違和感であったり、憧れ、ねたみなど大なり小なり感じている人が多くいると思います。背が高く金髪の外国人が道を歩いているだけで、物珍しそうに見てしまいます。私もその一人です。今までに5カ国ほど旅をした事がありましたが、その考えは、なかなか消す事はできませんでした。しかし、アメリカ合衆国という国には、多くの人種、他民族の人々が生活しています。日常生活の中で、常にその事に触れているわけです。

私は、今回の旅行で教会に行くことが出来ました。毎週日曜日に開かれている朝の礼拝。とても感激致しました。来ていたのは、老若男女約100名位の人々が参列していました。そこでは、神父様のお話、歌などを聞いていました。あまりコンコードでは、宗教が盛んではないとお話を聞いていたので、正直あまり教会には期待していなかったのですが、実際はそうではありませんでした。来ていた方々は、何も見ないで全員で唱える所を話す事ができ、歌を歌う時もみんなわかっていた。この事は、日本では考えられないことです。私のお寺では、年に4回しかお寺参りがありません。その時見ている、お経を何も見ないで唱える事が出来るのは少数の方のみです。何も見ないでお経が読める事がすごい事ではけしてないですし、信仰心が無いわけではないのですが、コンコードの教会に参列されていた方は、毎週来る事によって自然と覚えてしまうんだろうなって思いました。それは、純粹に救いであったり、癒しを求めて来てるんだろうなと思いました。

礼拝の途中で、私が自分のお寺でもやってみたい事が一つとても簡単なことですが、よくいい事をしていました。それは、握手です。握手は、とりあえず自分の周りの人とします。きっと面識が有る無い関係ないんだと思います。意味は、平等であったり、世界平和であったり、愛であったりいろんな意味があります。今までに握手をしている仏教を見た事がなかったので、自分の中ではすごく衝撃的な行動でした。寺の行事で、まして日本人どうして受け入れられるかわかりませんが、ほんとに試してみたい事だと思いました。

礼拝の中でいろいろ見ている中で、何を言っているのか全然わかりませんでしたが、その場の雰囲気であったり、来ている人々の信仰心を感じてすごく感激し涙がでてきました。壮行会の時に宗教には国境がないと言いましたが、本当にそうであると実感した瞬間でした。人種とか言語という枠を関係なくただただ素直に純粹に教会に足を運んでいるんだなと思います。

今回の視察旅行で、仏教でも見習う所は沢山ありました。この事を生かしてこれからの新しい事を積極的にやっていきたいです。また、コンコードの子供達が七飯に来て、私のお寺に来る事がありましたら、仏教の禅というものが、日本に存在してどんな事をやっているのかを教えてください。

この国際交流は、永遠に七飯町とコンコードの絆をつないでいくものだと思います。今回の旅行に参加させて頂き、若い頃に世界を感じる事が出来てすごく幸せです。また是非ともコンコードには、行きたいです。七飯町長はじめ、関係されている役場の職員のみなさま本当にありがとうございます。



